

令和3年2月24日

香川高等専門学校

香川高等専門学校高松キャンパスの土壤汚染状況調査結果について

平素より本校運営へのご理解・ご協力ありがとうございます。

本校高松キャンパスでは老朽化した給排水管の更新工事実施に先立ち、法令に従い土壤汚染調査を行ったところ、基準値を超える「ふっ素及びその化合物」が検出され、この調査結果を高松市に報告いたしました。この調査結果等についてお知らせいたします。

（現状）

「ふっ素及びその化合物」外8項目の調査対象31か所の内、4か所（別添図面参照）から土壤溶出量の指定基準0.8mg/Lに対して、0.87～1.5mg/Lの「ふっ素及びその化合物」が検出されています。

そこで、今回一番検出値が高かった箇所をさらに掘り進めて地下水調査を行ったところ0.5mg/Lで、基準値（0.8mg/L）以内でした。

なお、ふっ素は、花崗岩に起因する自然由来の汚染もありますが、今回検出された箇所が排水管の近くであることから、過去の意図しない漏洩も含めて教職員に調査を行った結果、そういった事実は確認できませんでした。

（今後）

引き続き土壤汚染対策法及び高松市の指導に基づき適切な対応を行ってまいります。

本件の照会先

香川高等専門学校（高松キャンパス）

電話：087-869-3806（管理課 江戸）

電話：087-869-3824（管理課 辻岡）

FAX：087-869-3829

【ふっ素】

ふっ化物化合物が歯医者での虫歯予防に使用されていますが、分類としては毒物になります。ふっ素を摂取した時の影響については、「日本水道協会、上水試験方法解説編 2001」では、急性の影響がでる最小経口量は1 mg/kg/day 以上であるとの報告が紹介されています。

たとえば、仮に体重 50kg の方が、1 日に 50mg のふっ素を摂取すれば急性の影響の発現が始まる可能性があると考えられます。今回の検出結果（最大値 1.5mg/L）の濃度の水を飲むとすれば1日に 33.3L となります。また、通常、人は1日あたり2リットル程度、飲用すると言われています。

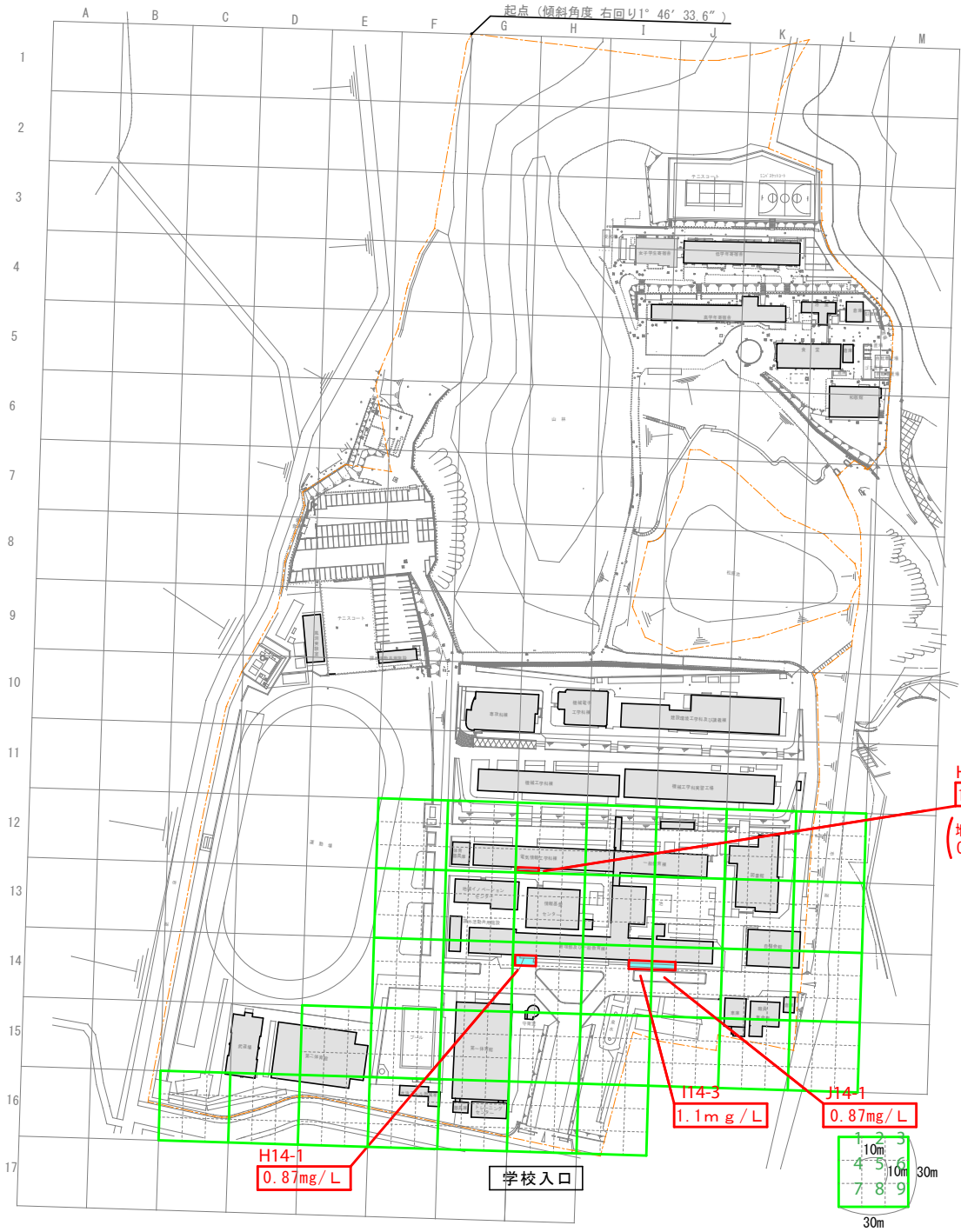
また、長期的な影響の可能性としては、ふっ素を含む井戸水を継続的に飲用した場合には、斑状歯（歯の白斑や褐色斑など）を発生する可能性が高くなると言われています。

【土壌溶出量】

土壌汚染対策法の指定基準の1つであり、特定有害物質が含まれる地下水を飲用することによる健康リスクの観点から設定された基準です。

土壤汚染調査位置図

令和3年2月24日
香川高等専門学校



高松キャンパス配置図

凡例

- 今回調査範囲
- 基準超過範囲（ふっ素）
- 敷地境界線